

パリにて記者発表を開催!

イタリアの女優クラウディア・カルディナーレが2005年のキャンペーン・キャラクターに

2004年12月15日に、パリフォーシーズンズホテルジョルジュVIにて、OSATO INTERNATIONALの記者発表が開かれました。檀上には、女優クラウディア・カルディナーレ氏(イタリア)、プロレーサーのフィリップ・ガシュ氏(フランス)、そして、大里インターナショナル社長 林幸泰、大里研究所所長ピエール・マンテロ博士、OSATOフランスの共同経営者ベルナール・リファ氏らが登り、発表に臨みました。

“第二のソフィア・ローレン” “イタリアのブリジット・バルドー”などと評され、人気を博したクラウディア・カルディナーレ氏は、1957年にデビューし、数々の映画に出演してきました。2005年から彼女がイミュナージュ(FPP)の女性大使として、ポスターやパンフレットに登場します。また、「テレフォニカ・ダカール2005」通称パリダカに、イミュナージュ・バギーを3台エントリー。参戦したプロレーサーのフィリップ・ガシュ選手がイミュナージュを毎日飲んで完走を果たし話題を集めました。注目度が高まるイミュナージュは、フランスでのさらなる飛躍が期待されています。



記者の質問に答えるカルディナーレ氏



記者発表は終始和やかで洗練された雰囲気の中で行われました



写真左からピエール・マンテロ博士、クラウディア・カルディナーレ氏、フィリップ・ガシュ氏、大里インターナショナル 林社長

OSATO INTERNATIONAL
Press Conference in Paris 2004.12.15

女優カルディナーレ氏の「自然さ」が イミュナージュのイメージに合致

2005年のイメージ・キャラクターに選ばれたカルディナーレ氏。記者発表時は、2005年2月からパリ・マドレーヌの劇場で公演されるテネシー・ウィリアムズの戯曲に出演するため稽古の真っ直中でした。OSATOフランスが、カルディナーレ氏を起用したのは、彼女の「自然さ」がイミュナージュのイメージと合致したから。自然に年を重ね、元気で美しく、今なおエネルギーに活躍している映画スターは少なく、しかも、彼女はイミュナージュを実際に食しているそうです。イミュナージュは、ご主人や日本人の知人(末の息子さん

が最近日本人と結婚!)、さらに、友人にも勧められたそうです。ご主人はイミュナージュを摂取して以来、調子が良くなり、彼女自身も3ヵ月ほど前からスタートして調子が良いそうです。「厳しい稽古の最中ということもあって、1日3袋飲んでいるせいか、ご覧のとおり元気」という彼女。普段は1袋だが、舞台がある時や忙しい時は2~3袋、マティネの前に1袋飲むという。ある時はパリ、ある時はローマと忙しく行き来することも多く、飛行機に搭乗する前にも必ず摂取するそうです。

クラウディア・カルディナーレ

1957年デビュー。“第二のソフィア・ローレン”“イタリアのブリジット・バルドー”と評された彼女は、ルキノ・ヴィスコンティ監督の『山猫』『家族の肖像』、フェデリコ・フェリーニ監督の『8 1/2』『プロフェッショナル』、その他『ピンク・パンサー』や『フィットカラード』といった映画に出演してきました。1月には自叙伝『Mes Etoiles(私のスターたち)』を刊行。

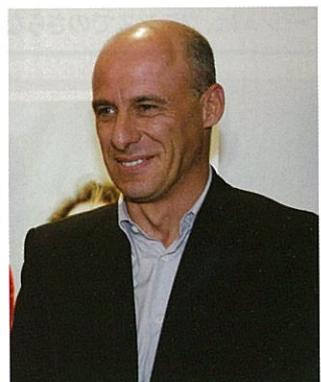


Claudia Cardinale par Carole Bellaiche



フィリップ・ガシュ PHILLIP GACHE

プロレーサー。フランス出身。1月16日に終了した「テレフォニカ・ダカール2005」通称パリダカにSMGチームのオーナー兼ドライバーとして参戦。ガシュ氏は、レースの2ヶ月前からイミュナージュを1日2本摂取。レース前の集中トレーニングを開始した。通常、この時期は体調がいい半面、身体を酷使するため少しのことで風邪をひきやすくなったりするという。しかし、今年はトレーニングが順調に進み、風邪もひかなかったとのこと。



『フィガロ』、『パリ・マッチ』、 外国のテレビクルーなど 総勢50名余の報道関係者が出席

冒頭、イミュナージュ製造元の代表として大里インターナショナル社長の林が、イミュナージュが生まれた背景やイミュナージュとはどういうものかを説明しました。日本は世界で一番の長寿国であり、その一因として日本伝統の発酵技術に着目し、さらに、手に入るあらゆるフルーツを試した結果、カリカ・パパイヤを選択。イミュナージュはそのパパイヤを日本伝統の発酵術をふまえた独自の方法により発酵させた食品であると紹介しました。

続いて、厳格な品質コントロールを挙げ、国際基準のISO9001とISO14001を取得した工場で厳格な生産管理のもと生産していること、完成品になるまでに約1年の歳月がかかるなどを説明。

大里研究所所長のピエール・マンテロ博士が、イミュナージュを科学的に説明した後、カルディナーレ氏とガシュ選手を紹介、二人は各々のイミュナージュ体験と感想を語りました。博士は、さらに肉体的にも精神的にもストレスがかかるプロスポーツ選手が、イ



ミュナージュを摂取している例として、イタリアのサッカーチームACミランやF1ドライバーのルーベンス・バリチェロ、モーターサイクルグランプリ2004世界チャンピオンのヴァレンティーノ・ロッシなどを挙げました。

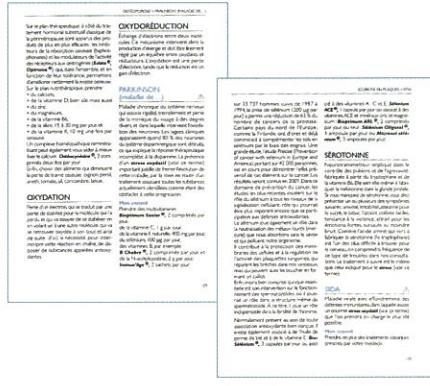


ドクター・シェブーの著書で「イミュナージュ」が推奨される

フランスで栄養療法の専門医として著名なパトリック・シェブー医師が、疾病に対する栄養療法と栄養補助食品を紹介した『La nutrithérapie de A à Z』を執筆。このフランスの薬局及び薬剤師向けのガイド的な書籍は、アルファベット順に病名を挙げ、各病気に対して栄養療法と栄養補助食品を紹介する構成になっており、イミュナージュ(FPP)は、パーキンソン病とAIDS=エイズのページで推奨されています。

シェブー医師は、身体を最大限に機能させるためには食事の摂取方法(質と量の過不足をなくす)である栄養療法がとても重要で、栄養不足を回避することが病気の予防につながると説明しています。昨今、日本や中国で古来より伝わる“医食同源”的な考えがヨーロッパでも注目を集めており、疾病の予防と治療、治療の効率化にも栄養療法が効果的であることが専門家の間で認識されてきています。

*上記の疾病的栄養療法における詳細は、必ず同書をご参照ください。



パトリック・シェブー

Patrick Chavoux

医師 フランス栄養療法カンパニー社長
ニューヨーク科学アカデミー会員 栄養医学学会会員
フリーラジカルのための生物学・医学学会員で、20年間、
医師として活躍。専門は栄養療法。

OSATOフランスがパリに移転

OSATOフランスの共同経営者で新社長となるベルナール・リファ氏のもと、OSATOフランスが2004年秋より、南フランスのニームからパリの中心地へ拠点を移しました。今後、イミュナージュの営業、プロモーション、お客様へのフォローをパリから行います。すでに紹介したように2005年にはパリダカに出場したSMGチームのスポンサーになつたり、女優クラウディア・カルディナーレ氏をイメージキャラクターに起用するなど、フランス、ヨーロッパの展開が活発です。今後もフランスのみならず、ヨーロッパ各地から様々なニュースをお届けできることでしょう。



HNR OSATO:
51 Boulevard de Courcelles Paris, 75017

小児癌チャリティ自転車レースを大里インターナショナルが後援



2004年9月18日にフランス・シャビエイユで開催された、フランスプレスクラブ主催の小児癌チャリティ自転車レースを大里インターナショナルは後援しました。快晴の中、約300名の選手が参加。コースにはイミュナージュのブースが設置され、多くの選手が摂取しながらレースを楽しみ、終始和やかな雰囲気で幕を閉じました。収益金はフランスプレスクラブを通じてリヨン大学病院小児科病棟に贈られました。



名門フェラーリをスポンサー

Ferrari

世界中のモーターファンを魅了するフェラーリのレーシングカーが、母国イタリアでImmun'Age Ferrariとしてレースに参戦しています。



Immun'Age Ferrari : 360 Challenge Cup in ITALY

機能性食品を販売する仏企業がイミュナージュを高評価！

機能性食品を販売する仏企業 Euro Sante Beaute が、同名の会報誌2004年7月31日発行号で、編集部厳選の、おすすめ高品質抗酸化サプリメントを8つ紹介しています。その中で、効果が最も高い製品として、イミュナージュが第1位

にランクイン。特集内の記事には、イミュナージュの様々な効果に関するなども解説されています。

*イミュナージュは抗酸化の生理学的プロセスを活性化することで酸化ストレスをコントロールする働きがあります



Euro Sante Beaute

フランス国内に各種フード・サプリメントを含む機能性食品を扱うフランチャイズ・ストア・グループ。毎月、顧客向けに同名の会報誌『Euro Sante Beaute』を発行しています。

Telefonica Dakar 2005
テレフォニカ・ダカール2005
イミュナージュ・バギー総合26位



フィリップ・ガシュ選手、OSATOヨーロッパのスタッフとともに

フィリップ・ガシ選手のイミュナージュ・バギーは、ミッショントラブルにより140位の最下位グループからという厳しいスタート。しかし、レース直前に気持ちが高ぶり落ち着けなかった昨年までとは違い、イミュナージュで体調を整えていたガシ選手は、冷静にトラブルに対処しレースを進めました。15日間におよぶレース期間中もイミュナージュを1日3本攝取したおかげで、1日の終りの疲労感が軽減され集中力を維持でき、また、夜も騒音や厳しい気候にもかかわらず短い睡眠時間で疲労を回復することができたそうです。リタイヤする選手が多い中、見事に完走を果たし、最終的には総合26位でゴール。今回のレースは、パリダカ史上最も過酷なレースと評されました。ガシ選手は気持ちよくレースを終えることができたそうです。2005年の次のレース「CROSS COUNTRY RALLY ワールドカップ」全5戦が楽しみです。



ダカールのゴールにて

人気料理研究家・藤野真紀子さんが FPPをナビゲート!

雑誌やTVなどで引っ張りだこの料理研究家・藤野真紀子氏が、ナビゲーターとして、『ディノス』春夏号用カタログに掲載されるFPPを紹介します。2004年9月29日に、藤野氏が主宰するお菓子と料理の教室「マキコフーズ・ステュディオ」にて、インタビュー＆写真撮影が行われました。料理研究家だけに食生活に気を配っている藤野氏は、FPPを知る以前から積極的に発酵食品を摂ったり、毎食ごとに乳製品を摂るなど、免疫力を高める食品にも注目していたとのこと。フランスにてスイーツを学ばれていたこともあるだけに、同国をはじめヨーロッパでFPPが好評なことも、興味を持たれた要因といえるでしょう。

藤野真紀子
MAKIKO FUJINO

PROFILE

料理研究家。1949年東京に生まれる。夫・現在、参議院議員を務める藤野公孝氏の赴任先であるニューヨークやパリなどに滞在し、お菓子や料理を学ぶ。帰国後、「マキコフーズ・ステュディオ」を主宰し、料理本の著作は多数。そのほかテレビ、雑誌などにも登場するほか、講演会などで忙な毎日を送る。



OSATO[®]

INTERNATIONAL

OSATO INTERNATIONAL NEWS

創刊2号 2005年3月25日發行

発行 : OSATO International, Inc.

〒501-0501 岐阜県揖斐郡大野町稻富1956
Phone:0585-34-3130 Fax:0585-34-3880
<http://www.fpp-japan.com>